

# 21 登山道の整備

## ◎これまでの議論

○歩くアルペンルートなど、素晴らしいトレッキングコースではあるが、老朽化が目立ち、登山道の整備・更新が必要ではないか。

○増加している訪日旅行者に対応するため、登山道の案内看板等の多言語表記・案内の充実が必要ではないか。

○登山道には、行政が管理していないものがあり、安全確保や維持の仕組みの検討が必要。

○利用者の安全性、利便性向上のため、ルートごとのコース番号の設定や、一定距離ごとのナンバリングなど、緊急時に情報伝達しやすい仕組みを導入すべきではないか。

○欧米豪の旅行者が増えているが、自然の奥深さを見に来ているので、更なる保全が必要。期待に応えるには、保全活動や維持管理の財源確保など、世界レベルの仕組みを導入していくべきではないか。



老朽化した木道(スリップ事故多発)

### ○登山道の整備・更新

・例えば、歩くアルペンルートの再整備、弥陀ヶ原～大日平にあった吊橋の復元整備など

### ○案内看板の更新(多言語)

### ○県民協働による登山道の整備

### 第1回WGでの意見

- ・登山道の整備は、順次再整備が必要
- ・緊急時の避難経路を考えた登山道や標識の整備が必要



継続実施

今年度の実施状況

○登山道のクオリティアップ(県)

- ・環境省直轄事業  
弥陀ヶ原園地ほか3箇所
- ・自然環境整備交付金事業  
歩くアルペンルートほか1箇所
- ・案内看板の再整備等  
歩くアルペンルートほか1箇所
- ・県民協働ボランティア  
弥陀ヶ原園地ほか1箇所



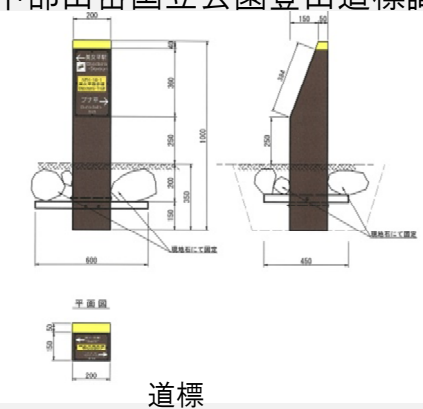
ボランティアによる安全対策



弥陀ヶ原の木道再整備

○看板の言語表記やデザインの統一(環境省)

中部山岳国立公園登山道標識統一デザイン基準(案)に従い設置



道標



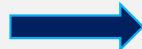
誘導標



案内看板多言語化

検討事項

「弥陀ヶ原～大日橋の吊橋復元」について検討

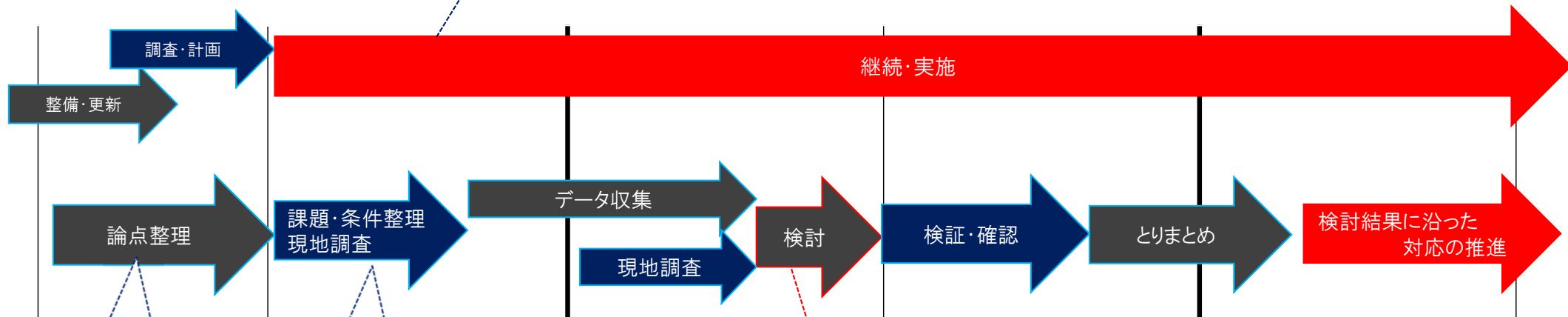


立山弥陀ヶ原・大日平総合学術調査で現地調査中  
別紙「吊橋復元検討図」参照

◎ スケジュールイメージ

<継続実施>

- ・登山道の整備・更新(木道の補修等)
- ・案内看板・道標等の再整備と言語表記やデザインの統一
- ・県民協働による登山道の整備

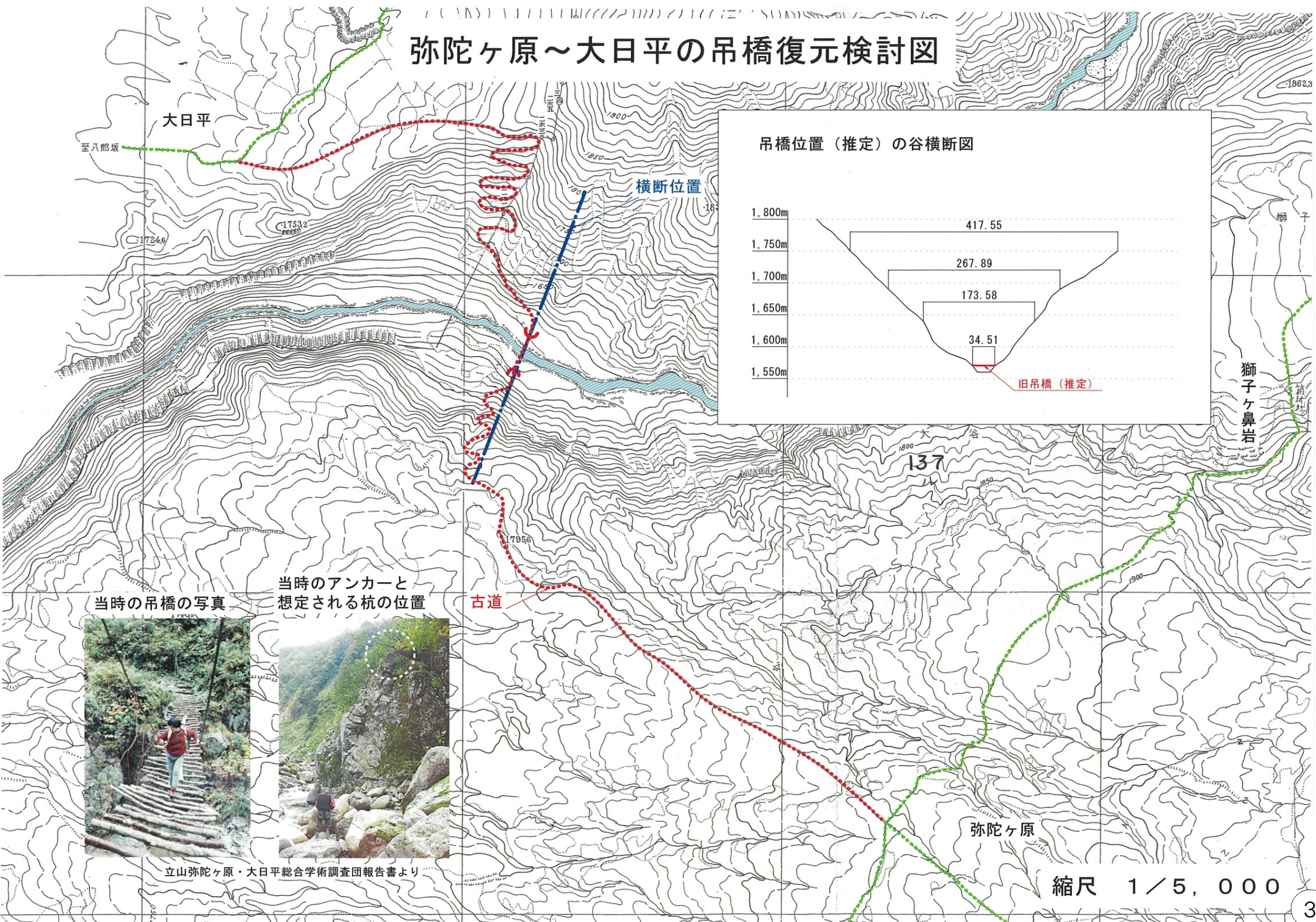


・「弥陀ヶ原～大日平吊橋復元」の検討は、立山弥陀ヶ原・大日平総合学術調査に同行しながら整理していく。

<検討事項>

- ・「歩くアルペンルートの再整備」や「弥陀ヶ原～大日平の吊橋復元」といった、魅力的で周遊性の高いルートの構築が可能か検討を進める。

# 弥陀ヶ原～大日平の吊橋復元検討図



当時の吊橋の写真



当時のアンカーと想定される杭の位置



立山弥陀ヶ原・大日平総合学術調査団報告書より